

町長	副町長	課長	主幹	担当	合議

別記様式第4号

会議等結果報告書					
会議区分	会議 ・打合せ・ 協議			文書番号	上富子育 第760号
				決裁期日	令和4年10月11日
名称	令和4年度 第1回子ども・子育て会議				
日時	令和4年9月26日(月) 10:00~12:10				
場所	保健福祉総合センター 2階研修室				
出席者	子ども・子育て会議委員12名(別紙名簿参照) 役場 齊藤町長、保健福祉課 深山課長、武山主幹、星野課長、床鍋主幹、白井主査 安喰主任、菊地主事				
内容	<p>・開会(進行:深山課長)</p> <p>1 委嘱状交付 各委員へ委嘱状を交付。欠席した委員については、後ほど事務局より交付。</p> <p>2 上富良野町長挨拶 児童福祉推進に関わりをもつ皆様のご出席に感謝する。本年度は子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの年であること、また、子育て世帯の皆様が安心安全な環境で子育てができるよう、この場で討論して頂きたい。子育ては、行政、地域、学校など様々なところが保護者と関わり、全員が一体となり、一同の協力の基、課題に努めていく必要がある。</p> <p>3 各委員自己紹介 委員一同により自己紹介。</p> <p>4 委員長及び副委員長の選任及び挨拶 ※子ども・子育て会議条例第5条に基づき、委員の互選により選出 委員長 : 上富良野町の子ども・子育て支援事業計画は令和2年度から始まり、(委員として)令和3年度から関わっている。中間評価の大切な1年になる。子育ての改善点について共に委員の方々と協議していきたい。</p> <p>副委員長: 皆様の思いを一つに、私も子育て家庭の力になりたい。</p>				

上富良野町長、次の用務のため退席。
以降、議事については、委員長が進行。

5 議題

(1) 令和3年度地域子育て支援事業の実施状況について

- ①令和3年度の実績について…資料1 (事務局：事務局説明)
- ②就学前児童の居場所調査結果について…資料2 (事務局：事務局説明)

委員からの質問・意見なし。議題について全体で確認した。

(2) 上富良野町子ども・子育て支援事業計画第2期について

- ①中間年に係る見直し案について…資料3 (事務局：事務局説明)

Q1 委員：利用定員は他市町村と比べ多いのか？少ないのか？

A1 事務局：定員数については、現段階では不明だが、本町は待機児童がないため、提供体制としては確保できる見込みの計画となっている。

Q2 委員：認定こども園の定員割れは大丈夫か？

A2 事務局：本町は待機児童がないため、現段階では定員数を変更することは考えていない。

Q3 委員：令和4年の4月から社会教育総合センターでファミリーサポートセンター事業を行っている。このことにより場所の確保が厳しくなっている。そのため、事業の縮小により実施時間も短くなるなどの影響が出た。かみんプレイルームや児童館の利用者数は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者数は増えているか？

A3 事務局：かみんプレイルーム、児童館共に利用者数は増えていない。新型コロナウイルスが蔓延しているため、町民の方々が利用を控えていると予想している。

A3の回答に対して委員：みんなが希望通り利用できる環境を作っていきたい。

Q3A3内容に対して委員：利用できる空間を今後も確保していけるのか？要望となってしまいが、育児に専念する母親の悩みの終わりはない。また、色々な要因からすぐに外出できる状況下でもないため、育児に対する悩みをオンラインなどで聞いてもらえる環境がほしい。また、社会教育総合センター前に滑り台を置いたりなど育児環境が整備されていると感じるが、その一方で、冬季期間の対策も考えてほしい。

堂前委員の発言に対して事務局・委員：母たちの負担が少しでも軽減されるよう改善点をつかんでいきたい。

(3) その他

①上富良野町子育て支援ごみ袋交付事業について…別紙参考資料に基づき
事務局：事務局説明

委員からの質問・意見なし。議題について全体で確認した。

②新子どもセンター建設工事の進捗状況について…別紙資料に基づき
事務局：事務局説明

Q4 委員：当初の建設設計から屋根が変わったとのことだが、積雪に耐えられるのか？

A4 事務局：保守・点検で実態を把握する

Q5 員長：予算を落としたことで長期利用ができなくなるのでは？

A5 事務局：機能が落ちない見直し減額であり、性能が落ちる減額ではない。

③その他

Q6 委員：前住んでいた自治体では、各園にのびのびクラブがあり、いつでも利用が可能な状況であったが、そのようにすることはできないのか？

A6 委員：月に1回実施しており、職員数が足りていないことや、実態として、職員が兼任している状況なため、回数を増やすことは今の段階では困難。今後の課題として考えていきたい。

A6 委員：コロナ渦で利用が減少しているが、新型コロナウイルス感染状況が落ちついてくれば、また、利用者が増えてくれば回数を増やせるかどうか様子を見ていきたい。

A6 委員：マスクをしていない年齢のため、頻繁に実施することは厳しいとみている。

Q6 A6に対して委員：利用ができること自体知らなかったのもっと町としてプッシュしてほしい。

他、要望・意見・質問

7 委員：サークル数及びサークル利用人数が減ってきている。サークルをもっとアピールしていきたい。情報をもっとアピールするために、家にいながら情報をキャッチできるようにしたい。どんな活動をしているのか、広報に掲載している記事をもっと大きく掲載してほしい。

7 町回答：HP の掲載スタイル・方法を見直していく。転入者はスクラムの中で周知している。

7町回答に対して委員：検診時は必ず来ることになるので、その時にサークルの照会もあると良い。公式ラインでの周知もお願いしたい。

委員に対して町回答：子育てのラインは検討している。

8 委員：産前産後ケアの事業を推進して頂きたい。

8 課長：来年度から計画しているところ。

内 容

・閉会